

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実	施策の目的	生涯にわたり市民の健康を守り、育む	施策	医療
-------	-------------	-------	-------------------	----	----

主要事業と関連部署

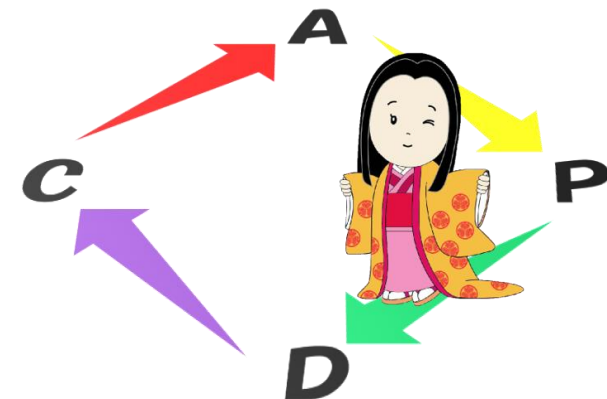
施策の方向	事業名	部署名
地域医療体制の強化	地域医療体制確保事業	保健推進課
救急体制の整備	休日夜間医療の充実	保健推進課
医療・介護の連携	電子@連絡帳JOSOシステムの運用	幸せ長寿課

目標

指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
医療体制に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	35.3%	40.3%

令和2年度の実行状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見
地域医療の充実, 拡充は必須課題であり, 市民ニーズの高い事業であり, その運営や舵取りは極めて難しいことは理解できる。事業内容についての外部有識者を交えた検討の実施等, サービスの充実に継続的に尽力していただきたい。
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 目標の達成状況 ♡♡♡ </div>



事業の説明

事業名	地域医療体制確保事業				事業の目的
担当	保健推進課				
予算科目	一般会計				
	4款	1項	1目	4事業	市民が休日・夜間において、安心して二次救急医療を受けることができる状態にする。きぬ医師会病院と地域の連携し診療機能及び小児科、産科の充実を図る。

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	生涯にわたり市民の健康を守り、育む
施策	医療
施策の方向	地域医療体制の強化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	22,112千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		1人
実施内容と改善点		
地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ態勢の確保。また、子供を産み育てる環境を整える。		

令和2年度	決算額	21,890千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1人
当初の成果目標		1人
実施内容と改善点		
初期医療時に対応外とされ方への治療及び、必要に応じて入院治療を行える体制の継続。また、子供を産み育てる環境を整えていく。 ・小児救急医療輪番制(地域内12機関) 受診者数269人 ・きぬ医師会病院小児科運営支援 受診者数 2,268人		

令和元年度	決算額	22,313千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1人
当初の成果目標		1人

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	令和元年度までは年間6千人以上が小児科の受診していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診数が激減した。
分析	全国的に小児科医が不足しているため、増員が困難な状況でもあるため、この地域医療体制を維持していくことも重要である。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	休日夜間医療の充実			
担当	保健推進課			
予算科目	一般会計			
	4款	1項	1目	5事業
事業の目的	市民が休日・夜間に医療機関を受診する必要がある際に、安心して適正な医療サービスを受けられる状態を維持する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	生涯にわたり市民の健康を守り、育む
施策	医療
施策の方向	救急医療体制の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	20,000千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標	- 人	
実施内容と改善点		
きぬ医師会病院内に設置されている常総市休日夜間急患センターの運営を、(一社)きぬ医師会に委託している。		

令和2年度	決算額	20,000千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績	497 人	
当初の成果目標	- 人	
実施内容と改善点		
きぬ医師会病院内に設置されている常総市休日夜間急患センターの運営を、(一社)きぬ医師会に委託した。		

令和元年度	決算額	20,000千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績	901 人	
当初の成果目標	- 人	

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	コロナ禍の状況により、医療機関への受診を控えている方がみられるが、前年までの毎月の診療実績報告により、広く市民に初期医療対策が浸透している。
分析	休日夜間診療も担当医が診療専門外のことがあり、救急患者への対応ができない場合がある

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

u



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	千円
	うち 特定財源	千円
成果目標	人	
実施内容		

今後の成果目標	
令和5年度	令和6年度
人	人

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	電子@連絡帳JOSOシステムの運用			
担当	幸せ長寿課			
予算科目	一般会計			
	3款	1項	4目	10事業
事業の目的	地域の医療・介護に携わる専門職の情報共有体制を整え、患者が安心して在宅での生活が送れるように支援する。また、災害発生時における安否確認にも活用する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	生涯にわたり市民の健康を守り、育む
施策	医療
施策の方向	医療・介護の連携

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	2,816千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		320 人
実施内容と改善点		
令和3年度より電子@連絡帳JOSOシステムした電子申請受付を開始。来庁者数を減らすとともに、利用者と行政それぞれの利便性の向上を図る。また、今年度は電子@連絡帳JOSOシステムを使用した要援護者の安否確認訓練に、ケアマネージャーの参加を促す予定。		

令和2年度	決算額	2,815千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		272 人
当初の成果目標		264 人
実施内容と改善点		
利用者を対象にした操作研修会を行う等、周知活動を実施した。		

令和元年度	決算額	2,789千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		227 人
当初の成果目標		200 人

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	患者登録及び利用者登録が進み、システム利用は順調に増加している。
分析	今後も操作研修や現状報告、ICTツールの利便性など、利用者への周知活動を行い、利用者及び患者担当者のグループ化の増加を促していく必要がある。また災害時情報共有及び広域連携を検討し、在宅介護と医療の連携促進を図っていく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

成果指標	
電子@連絡帳JOSOシステムに登録している患者を支援する医療機関・介護サービス事業者数(利用者)	
単位	人

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

NEXT CYCLE